



わが町 志津南 NEWS

志津南ホームページ
http://waka-kusa.net/

発行
志津南地区自治連合会
連絡先：志津南公民館
Tel 563-6206

わが町10大ニュース

- 自治連が全住民対象に地区計画案を説明(10月) 16・30日。現在の建築・緑化協定に代わる新しい町づくりルール「地区計画案」説明会を実施。景観、保持、建べい率緩和案を説明、理解を求めた。志津南のホームページ立ち上げ(3月) 15日。町づくり委員会が立命館大の協力得て構築した地域ホームページをインターネット上に公開。ごみ収集日やバス時刻表など生活情報を盛り込む。自治連が全戸対象に初の防災講習会(9月) 10日。志津南公民館、中央公園の2会場で湖南消防署員が家庭内防災対策や消火器操作などの指導を受けた。住民250人が参加した。情報化パイロット事業推進委がスタート(10月) 25日。草津市の地域協働(情報化)パイロット事業のモデル地区指定に伴い、自治連が推進委員会を立ち上げ、ITベースの地域情報化を目指すことに。初の志津南スポーツまつりに300人が参加(10月) 2日。志津南小の通学区再編に伴い、従来の同小との合同運動会に代わる新規イベントとして開催。満水リレーなど新メニューを300人が楽しんだ。SCNが多チャンネルサービス開始(4月) 1日。飛鳥都市開発から業務移管された滋賀ケーブルネットワークがCATV多チャンネルサービスを開始。インターネット接続サービスも。ホームページ改善へアンケート調査(11月) 18日。自治連は全戸を対象に情報化パイロット事業の柱である志津南ホームページに関するアンケート調査を実施、回収率は78%の高率だった。志津南小で通学区再編後初の入学式(4月) 8日。追分・岡本地区の一部を加えた新通学区のもとで初の入学式。2年・6年が2学級となり、長年続いた1学年1学級が改善、校庭に活気戻す。学校・PTA・社協が安全確保で連携(5月) 10日。社協ボランティア部会が志津南小、同校PTAと連携、登下校時の誘導や校内巡視など、児童の安全確保に向けた活動の強化を申し合わせた。公民館にインターネット体験コーナー(10月) 1日。志津南公民館にネット接続パソコンを設置、来館者にホームページ閲覧など、自由にインターネットを体験してもらえるコーナーを開設した。

情報化調査、回収率は78%

ニーズ高い防犯・健康福祉情報

自治連が先に行った「志津南情報化アンケート調査」は11月28日締め切られました。全945世帯に配布、回答を得たのは737世帯、回収率は77.98%の高率。別表参照で、住民みなさんの関心の高さを示しています。

現在、調査に協力してもらっている立命館大学大学院景観計画研究室の手で集計・分析を急いでいます。

回答を概観したところ、利用

| 町名 | 配布 | 回収 | 率(%) |
|-----|-----|-----|------|
| 1丁目 | 109 | 102 | 93.6 |
| 2丁目 | 113 | 93 | 82.3 |
| 3丁目 | 101 | 82 | 81.2 |
| 4丁目 | 116 | 77 | 66.4 |
| 5丁目 | 91 | 79 | 86.8 |
| 6丁目 | 136 | 119 | 87.5 |
| 7丁目 | 98 | 79 | 78.6 |
| 8丁目 | 90 | 59 | 65.6 |
| 岡本西 | 91 | 47 | 51.6 |
| 合計 | 945 | 737 | 78.0 |

情報媒体では、市広報紙、志津南ニュース、閲覧板などアナログ媒体が主流を占める一方、インターネットの接続率が高く、時代の流れを取り込んでいく様子が見えつつあります。

また必要な情報として最も多く挙げられたのは、アナログ、

防犯ポスターで町の安全を守る



自治連では立命館大環境デザイン演習生

デジタルを問わず、防犯・健康・福祉情報で、地域で多発する空き巣泥や昨今の治安への不安を投影した回答が目立ちました。くわしくは結果がまとまりました。

第、広報紙志津南ニュース、志津南ホームページなどを通してお知らせする予定です。(自治連)

このうちポスター3点が完成しました。

子どもたちの安全に対する社会不安が増す一方志津南地区では最近、空き巣が多発しており、地域ぐるみでの対策が必要となっています。

提案されたこのポスターを各町内の掲示板やごみステーションなどに掲示して犯罪防止への意識の向上をはかるなど、出来ることから取り組んでいきたいと考えています。

(写真は完成した作品の一点)

災害に対応できる地域力

講演会で阪神大震災の教訓学ぶ



塚口伍喜夫教授 体験を語る

志津南地区社会福祉協議会は11月13日、「阪神大震災とその時社会福祉は」と題した講演会を志津南公民館で開催、講師の塚口伍喜夫神戸流通科学大学サービスマネジメント学部教授が1時間半にわたり、災害に備えた態勢づくりなどについて話しました。同講演会は戦没者追悼事業の一環として開催されたもので、

慰問に笑顔で応える高齢者



お年よりをバラ寿司慰問

木枯らしに街路樹の落ち葉が舞う12月3日、志津南社会福祉協議会が地域ふれあい事業として高齢者へのバラ寿司持参で慰問に出かけました。今回はボランティア、役員がバラ寿司を手づくり、午後から民生委員児童委員

行い、常に災害に備えるという態勢を整えておいてほしい」と訴えました。

(社会福祉協議会)

お茶会でふれあう



下村さんのお点前でお茶を一服

秋は山装つといわれるように日ごと色増す桐生の山並みを遠く眺めながら11月13日、恒例のふれあいお茶会を志津南公民館で開きました。

さんとともに、85歳以上の高齢者15人のみなさんを訪問しました。

訪問先では私たちが笑顔で迎えていただき、話も弾みとても和やかなひと時でした。「どうぞその笑顔でいつまでもお元気に」という思いを強くしました。

(社会福祉協議会福祉部)

ススキ、ほととぎす、紫式部など野の花をかざり、お琴のテブがゆったりと流れる中、下村さん(若草7丁目)の見事なお点前による一服を味わいながら、心に潤いを得るひとときをすごしました。

当日は平和祈念講演も開催されており、講演終了とともにまさに「一期一会はお茶の心」の通り、老若男女のみなさんが立ち寄ってくださり、和やかに談笑されていました。

当日は寒い日でしたが、地域のみなさん30人が参加しました。現在は音楽療法士として活躍している尾木さんが、ボランティア活動に身を投入するきっかけとなったのは、ボランティア活動をしている人の送迎の手伝いをしたことだったそう、それから一緒に活動するようになり、いろいろな人との出会いがあり、仲間の輪が広がったということです。

一斉清掃に850人が参加



子ども達も参加してお手伝い

今回も機械による草刈りや剪定作業は一斉清掃開始前に終わるようになりました。

今回はまた、地域環境美化に努め、ごみゼロのきれいな町づくりを推進し、ごみに関するモラルの向上を図ることを目的とした草津市の「市内散在ごみ一斉清掃」をも兼ね、草木、落ち葉以外の普通ごみ、プラスチック・ペットボトル、空き缶、その他のごみ(金属、びん、不燃物など)も回収しました。

(福利環境部)

音楽療法士迎え講演会

志津南公民館は11月19日、ボランティア講座を開催、音楽療法士の尾木八重子さん「写真から「私とボランティア」と題した講演を聴きました。



講演の中で尾木さんは「ボランティアは一方通行ではなく、お互いにつれしき、喜びを感じられることが大切」と強調、また「時間は自分でつくるもの、時間が出来たらやりますと言っているのは出来ません」と、積極的な姿勢を訴えました。講演では、キーボード伴奏に合わせて、参加者と一緒に懐かしい歌を歌ったり、ゲームをしたり。笑顔と歌声があふれる楽しい講座となりました。

Cスポーツ大会に3百人参加

ソフトボール、ワン・ツィで熱戦



ソフトボール大会

志津南体育振興会は11月23日、チャレンジスポーツデー参

加行事として、ソフトボール大会とワンツィシュート大会を志津南小学校で開催、300人を超える地域の人々が参加しました。
同行事は以前の市主催「おう湖マラソン」を市民参加のスポーツ行事に衣替えしたもので、今回で4回目。市内の全学校施設体育施設を開放して行われ、市全体では6000人を超える参加がありました。



ワンツィシュート大会

志津南地区での第8回ソフトボール大会は高齢化の進展に伴い、毎年参加者が減少、開催が危ぶまれましたが、関係者の努力で開催にこぎ着けました。試合が始まると非常に盛り上がり、さすが「志津南」を実感する大会となりました。
一方、ワンツィシュート大会は今回が第1回。例年のグラウンドゴルフ大会が社会福祉協議会に移管されたのに伴い、草津発のニュースポーツとして全国に向けPR中のこの種目を初めて取り入れたものです。
すでに公民館、学校での練習会春のスポレク祭への参加など

いもご飯で慰問



プレゼントに笑顔のお年より

志津南小学校5年生32人が11月17日午後、地域の独り暮らしの高齢者や日ごろ世話になっ

いる公民館を訪ね、いもご飯をプレゼントしました。
いもご飯は、自分たちが校内の農園で栽培、収穫したお米とサツマイモを材料に、給食室でつくったものです。いもご飯が出来上がると、これを手に手に「さあ出発」と元氣よく慰問に出かけました。
訪問先では「さん、こんにちは。お元気ですか？私たちが作ったおいもごはんです、どうぞ」と声をかけると、「まあ、みなさんよく来てくれました。ありがと。いただきます。あら、お手紙も？」と返ってくるなど、お互い素敵な笑顔で和やかに会話を交わしていました。付き添う私たちの心にも暖かいものを感じました。
(民生委員・児童委員)

大阪市立科学館前に勢ぞろいした参加者



わんぱくプラザ南っ子の館外研修が11月12日に行われ、

プラネタリウムにびっくり 笑顔はじけた南っ子館外研修

南っ子37人、引率・付き添い合わせて43人が大阪市立科学館を訪れました。

同科学館は4つの宇宙エネルギーゾーンに分かれています。なんと、なんと目玉は直径26.5cmという世界最大級のプラネタリウム。完成時には大きな話題となりました。
ドームスク

で体験者もかなりあり、簡単な説明と練習ですぐに試合に臨めました。
頑張っても相手チームに得点が入るなど意外性もあり、拍手と落胆が入りまじる光景が繰り広げられました。
大会開催にご協力頂いたソフトボールクラブ、体育振興会のみなさんにお礼を申し上げます。大会結果は次の通り。

- ソフトボール大会
 - 優勝 若草1丁目
 - 準優勝 若草6丁目
 - 3位 若草5丁目
 - 敗者復活1位 若草2丁目
 - ワンツィシュート大会
 - 優勝 若草1丁目
 - 準優勝 若草4丁目
 - 3位 若草5丁目
 - 敗者復活1位 若草3丁目
- (体育振興会・佐々木)

リーンに映し出される映像はさながら宇宙旅行をしているような気分。上映されたソーラーマックス「太陽の驚異にせまる」は天井から音と映像が押し寄せ迫力満点。子どもたちは周囲を圧する映像にのみ込まれ、宇宙旅行を満喫していました。
また、科学サイエンスショーでは参加型の実験に科学を身近に感じたほか、多くの展示品や実験・体験装置を見ようと館内を走り回るなど、充実した研修となりました。
実行委員長の大倉さんは「サイエンスショーやオムニマックス、科学装置に触れ楽しかったし、子供たちの笑顔が良かった」と話していました。

こよみ

- 12月17日(土)
 - 健康ウォーキング
 - 8:45集合 9:00出発
 - 菖蒲池周辺(参加自由)
 - 老人クラブ(若寿会)
 - ミュージックソング
 - 13:00~16:00
 - クリスマスパーティ
 - 18:00~21:00
 - 志津南公民館
- 12月20日(火)
 - コンピュータ活用講座『2006年ブログ』
 - 13:00~16:00
 - 志津南公民館
- 12月24日(土)
 - 社会奉仕
 - 8:45 集合
 - 若草中央公園
 - 老人クラブ(若寿会)
- 1月6日(金)
 - 定例健康相談
 - 9:30~10:30
 - 志津南公民館
- 1月7日(土)
 - 健康ウォーキング
 - 8:45集合 9:00出発
 - 菖蒲池周辺(参加自由)
 - 老人クラブ(若寿会)
 - 子ども会『新春書初め大会』
 - 下級生: 9時から/上級生: 10時から 終了は12時予定
 - 志津南公民館大会議室
 - 志津南地区子ども会
- 1月14日(土)
 - 紳士淑女の井戸端会議
 - 講話『環境: 私たちに出来ること』
 - 10:00~12:00
 - 志津南公民館
- 1月15日(日)
 - 左義長
 - 若草中央公園
 - 10:00~12:00
 - 志津南地区自治連合会

ジャズダンス レインボードリーム

踊りで柔軟性保つ



リズムカルな音楽にのって、楽しく

大人はもちろん、そんな時の子どもの顔は生き生きとしています。

さらには、もう一つ付け加えれば、ダンスでうまく型やポーズが決まった時、みんなと呼吸が合ったとき、そしてうまく自分を表現できたときの楽しさ、充実感です。そういった喜びを感じる事ができたら最高です。

【問い合わせ先】
代表 大沢奈保子
電話549-2206
は志津南公民館です。

サークル ジャズダンス部

寒い季節になりましたが、ここでは、子どもから大人まで音楽にあわせ、楽しく体を動かしています。

ジャズダンスは、思いっきり体を動かすことの少ない普段の生活で失いがちな体の柔らかさを保つことが出来ます。体の柔軟性は小学校の中学年くらいから失われ

がちですが、体の使い方を習い、普段しない動きをすることで柔軟性が保たれます。そして、なんといつても、ただ運動するだけではなく、リズムカルな音楽にのって、楽しく踊る、思いっきり体を動かす、これがジャズダンスの醍醐味でしょう。

みんなの場

毎日一時間、五・六歳のウォーキングを日課にしている。日本アルプスに登れる体力がほしいと思つたのがきっかけだが、もう10年続いている。

至福のとき

おかげで、ここ数年はカメラや衣類、食糧など16*ほどを背負って、毎年、百名山を四、五座征服できるまでになった。効果は健康面にもはつきり現れてきた。昔から血圧、体脂肪が高めで「要注意」と医者から指摘を受けていたが、これがほぼ正常に。今ではリタイア寸前ながら何一つ悪い所がない、と自負している。

公民館で清掃と消防訓練

志津南公民館の一斉清掃と消防訓練が11月11日午前9時半から行われました。日頃、公民館を利用している各種団体や有志41人が協力、窓や床のふき掃除をはじめ、常にはなかなかできない所にも手が入り、全館すっきりしました。



このあと、清掃活動に協力いただいたみなさんの参加を得て避難訓練と消防訓練が行われました。給湯室からの出火を想定し、通報、避難訓練を実施。その後消防署員から、火事や震災の時に心がけることなど、防災の心得を聞きました。

最後に水消火器を使い、いざという時に落ち着いて行動できるように消火訓練も行いました。